

事業番号	08 04 20	事業改善シート（26年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	需要対応型畜産振興事業				担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H23 ~		

1 事業の概要

目指す姿	本県畜産の活性化を図るため、実需者の需要に応じた畜産物の生産に取り組む中で、実需者から強い要望のある安全・安心でオレイン酸に着目した「おいしい豚肉」のブランド確立を図り、農家の所得向上と生産基盤を強化する。						
現状（予算編成時）	○飼料価格高騰等、畜産を取り巻く情勢が厳しい中、県内の畜産生産基盤は減少しており、実需者の需要に応じた、安全・安心でこだわりのある畜産物の生産による畜産の活性化が必要である。						
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 県内の畜産全体活性化を図るためには、生産者や関係団体等との調整が可能な県による実施が必要。					
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H26)						
	○豚肉のおいしさ基準の策定・検討						
	② 事業内容 (単位:千円)						
	項目	実施方法	H26事業実績				
			H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)		
	おいしい豚肉基準設定	直接	・「おいしい豚肉」基準のづくり ・豚肉のおいしさに関与する成分の検討		470	447	470
			合計		470	447	470

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	7,720	804	470	470
	補正予算	-7,500	0		
	合計(A)	220	804	470	470
	一般財源	220	482	470	470
	県債				
	国庫支出金		82		
	その他(寄付金)	0	240	0	0
	決算額(B)	220	686	447	
概算人件費	職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20
	概算人件費(C)	1,652	1,652	1,652	1,652
	概算事業費(B(A)+C)	1,872	2,338	2,099	2,122

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
基準の策定と検証	豚肉オレイン酸測定法確立	基準の策定と検証	データ集積し検討を実施	未達成	基準の検討・策定

目標に対する成果の状況	25年度において、豚肉のオレイン酸簡易測定法を確立した。26年度はその測定法を用いて45検体を測定し、食味試験結果等との関連データを集積し、実需者等と検討会を開催し基準の策定のための協議を行ったが、現時点においておいしさを評価する技術が未確立であり基準の策定には至らなかった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 県産豚肉のブランドを確立し、県産豚肉を販売する実需者の販売促進につなげ、生産者の所得を確保するため、オレイン酸に着目した豚肉おいしさ基準を策定する必要があることから、引き続き事業を実施する。
--------------------	--